

## 平成22年度 医療事故等行為別件数及び重大な医療事故の概要

### (1) 医療事故等 行為別件数

平成22年度	レベル	インシデント			
		0	1	2	計
薬剤		49	312	56	417
輸血		5	1	0	6
治療・処置		25	74	19	118
医療機器等		6	10	1	17
ドレーンチューブ		0	15	5	20
検査		13	39	1	53
療養上の世話		4	247	71	322
その他		67	106	23	196
計		169	804	176	1149

アクシデント						
3		4		5		計
a	b	a	b	a	b	
6	4	1	0	0	0	11
0	0	0	0	0	0	0
17	8	5	1	2	0	33
0	1	0	0	0	0	1
29	3	0	0	0	0	32
0	0	0	0	0	0	0
13	1	7	0	0	0	21
2	6	2	0	0	0	10
67	23	15	1	2	0	108

合計	1257
----	------

障害区分(レベル)	内 容
インシデント	レベル0 誤った医療行為が実施される前に気がつき患者には実施されなかった場合
	レベル1 事故が起こったが、患者には影響がなかった場合
	レベル2 事故により患者に何らかの影響を与えた可能性があり観察の強化や検査の必要性が生じた場合
アクシデント	レベル3 事故により、軽微な処置・治療を要した場合
	レベル4 事故により、患者に心身の障害が残った場合又は濃厚な処置・治療を要した場合
	レベル5 事故による死亡
	a 明らかに誤った医療行為又は管理は認められない場合
	b 明らかに誤った医療行為又は管理に起因している場合

### (2) 重大な医療事故の概要

#### ○平成22年度

発 生	平成22年4月
概 要	60歳代男性:弾発指 右手中指の関節痛・弾発指に対し、ステロイドと鎮痛薬の注射を行ったが、最終的に右手中指は壊死し、初回治療から40日後に切断を余儀なくされた。
対 応	右手のリハビリテーションを行った。(右手中指が壊死した原因は特定できなかった。)
発 生	平成22年4月
概 要	20歳代女性:辺縁系脳炎 呼吸管理のために気管切開術を施行したが、不完全であり、呼吸状態が改善されなかった。
対 応	気管切開術の対応手順を再度整備した。
発 生	平成22年4月
概 要	80歳代男性:心房細動、脳梗塞後遺症 ベッドの上で立上がろうとして、床に転落し、肋骨を骨折した。
対 応	見守りを強化した。
発 生	平成22年4月

概要	70歳代女性: 転移性肺腫瘍 肺切除術の術後, ICU入室の約2時間後に, 突然意識障害を来し心肺機能が停止した。
対応	家族に状況を説明した。(原因は特定できなかった。)
発生	平成22年5月
概要	60歳代男性: 胃がん 胃全摘術後縫合不全から腹腔内出血を来し, 緊急の止血術を行った。
対応	合併症としての縫合不全発生に注意する。
発生	平成22年5月
概要	80歳代女性: 肺結核 ポータブルトイレに自力で移動しようとして転倒し, 左大腿骨頸部を骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発生	平成22年5月
概要	60歳代男性: 肺結核 外出禁止患者であったが, 無断で院外に出ようとし, 3階病室の窓から2階のビニールシート屋根に飛び移り, 転落して第一腰椎と仙骨を骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発生	平成22年5月
概要	60歳代女性: 進行食道癌 左上腕より中心静脈カテーテルを留置した際, カテーテル内のスタイレット(中芯)を誤って遺残させた。約40日後にスタイレット遺残の事実が判明し, ただちに抜去した。
対応	当該カテーテルの採用を停止した。
発生	平成22年6月
概要	80歳代女性: 閉塞性黄疸 上部総胆管狭窄に対して胆管チューブステントを留置する際, 出血したため, 動脈塞栓術にて止血した。
対応	合併症発生に注意し, 手術操作はより慎重に行うようにした。
発生	平成22年6月
概要	60歳代女性: 脳動脈瘤 脳動脈瘤の術前検査終了20分後に脳梗塞を発症し麻痺が生じた。リハビリテーションにより軽快しつつある。
対応	合併症発生に注意し, 手術操作はより慎重に行うようにした。
発生	平成22年6月
概要	90歳代女性: 心不全 ベッド上に座ろうとした際に滑り落ち, 腰椎を圧迫骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発生	平成22年7月

概要	40歳代女性:子宮頸がん 広範子宮全摘術後に左下肢の運動・感覚障害を認めた。
対応	合併症発生に注意し,手術操作はより慎重に行うようにした。
発 生	平成22年7月
概要	50歳代女性:胃潰瘍 胃カメラ検査前処置としての咽頭麻酔でアナフィラキシーショックを発症した。
対応	常にアレルギー反応の発生に注意を払うようにした。
発 生	平成22年7月
概要	70歳代男性:転移性脳腫瘍 自力でトイレに行こうとした際にベッドから滑り落ち,胸椎を圧迫骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発 生	平成22年9月
概要	40歳代男性:早期胃がん 内視鏡的粘膜下層剥離術中に穿孔を来たした。保存的治療で軽快した。
対応	合併症発生に注意し,手術操作はより慎重に行うようにした。
発 生	平成22年9月
概要	80歳代女性:腸閉塞 ポータブルトイレから自力でベッドへ戻ろうとして転倒し,右大腿骨転子部を骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発 生	平成22年9月
概要	80歳代女性:肺炎 4輪手押し車でトイレへ向かう途中に座り込み,胸椎を圧迫骨折した。
対応	見守りをより強化した。
発 生	平成22年10月
概要	70歳代女性:蛋白漏出性胃腸症 胸水穿刺により呼吸状態が悪化した。
対応	胸水穿刺後の管理を慎重に行う。
発 生	平成22年12月
概要	70歳代女性:肝臓がん 廊下で転倒し腰椎を圧迫骨折した。
対応	見守りを強化した。